

# 「立派な日本人育成」 保護者らに理念語る

## 森教育学園が親学講座

岡山学芸館高、同館青秀  
 中学・高等部の保護者らを  
 対象とした「親学講座」が  
 10日、岡山市東区の百花ブ  
 ラザで開催された。両校を  
 運営する学校法人森教育学  
 園の森靖喜理事長が「本学  
 園の教育理念」をテーマに  
 講演し、「立派な日本人を  
 育成するという理念のも  
 と、子供たちと接していま  
 す」と述べた。

同講座は平成19年、両校  
 の保護者らが開講。人間形  
 成教育のため、親がどう考  
 え、どう行動すべきかなど  
 を考える場として開かれ、  
 今年で8年目、今回が52回  
 目となる。

「教育理念を支える考え

方、歴史観には2つのキー  
 ワードがある」と森理事長  
 は問題を提起。「日本の伝  
 統の継続か、断絶か」「大  
 東亜戦争は自衛の戦争か、  
 侵略戦争か」の2点につい  
 て解説した。

歴史教育について「現在  
 の価値観で過去を断罪する  
 のではなく、当時の人がど  
 のような状況で、どのよう  
 に考えたか、から学ぶこと  
 が重要」と語り、「歴史には  
 光と影があり、戦後の日本  
 は影の部分ばかりを教えて  
 いる」と述べた。そのうえで  
 「日本の文明を誇りとし、  
 伝統に基づいた立派な日本  
 人の育成」という保守的教  
 育観の重要性を強調した。

### 親学講座

第五十二回 岡山学芸館

「本学園の

学園長 森 靖喜



「立派な日本人の育成」について理念  
 を語る森教育学園の森理事長―岡山市